湖南市議会議員

赤祖父ゆみ

9月議会報告書

N.77

2022年 10月

TEL／FAX　0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

［発行責任者：赤祖父ゆみ］
アドレス：pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp
ホームページ：http://akasofu-yumi.net/

青空の下、爽やかな風を感じる季節となりました。新型コロナウイルス感染症もようやく収まってきたように感じられ少しホッとされておられるのではないでしょうか。コロナウイルスがもたらした影響は大変大きく、多くの方々が亡くなった悲しみを忘れることは出来ませんし、経済的な疲弊、人と人が分断され、やる気が起こらず諦めてしまう風潮が広がりはしないかと危惧しています。再構築にはかなりのエネルギーが必要で、もしかしたらもう戻らないものもあるかもしれません。時代の大きな変革期になっていくように感じています。デジタル化が進み、非接触型社会が存在し、今後生活様式も大きく変わっていくのだと思います。少子高齢化、人口減少問題を抱え、その舵取りは重要で大きな局面を迎えていると感じています。商品の値上げが次々と報告され、家計に及ぼす影響は大変大きくなってきていますが、国民の給与は変わっていないのが日本です。コロナウイルスの影響で疲弊した上での物価高騰は大きなダメージとなりますが、私達は生き抜いていかなくてはなりません。今こそ政治の役割は大きく、生活困窮者への支援対策をしながら経済を回していかなくてはならないと考えます。平和堂甲西中央店が閉店となりましたが、新しいショッピングセンターの情報も耳にしています。長年の思いが叶い、JR 石部駅が「誰もが利用しやすい駅」として生まれ変わろうとしています。私たちの新しいまちづくりを一緒に考えていきましょう。祭りや文化、スポーツ行事など開催されていくことにより、人と人との絆を再構築し、今後進んでいくであろう「小規模多機能自治」へ、市民の皆様の協力を是非ともお願いします。公共施設の検討が進んできます。「選択と集中」今が一番大切な過渡期です。皆さんのご意見をお聞かせください。住んで良かったと思える湖南市に、皆さんでつくっていきましょう。きっと出来ると信じています。努力を惜しまず、一歩ずつ・・私も頑張ってまいります。

赤祖父　ゆみ

令和３年度湖南市一般会計 決算の認定について！可決

歳入総額　243 億 1863 万 5023 円
歳出総額　233 億 9607 万 6100 円
単年度収支　8 億 6952 万 1923 円の黒字

コロナ禍の影響

収益が上がっていない中小企業等に対して、固定資産税を減免する制度が設けられ、一定税収は減ったが、その分**地方特例交付金**で補填された。当初懸念されていた厳しい財政運営までにはならなかった。

主要財政指標

経常収支比率・・・82．6％（前年度 88．2％）
5.6 ポイント改善
基金残高・・・61 億 8684 万円
（前年度 50 億 7538 万円）
地方債残高・・254 億 9206 万円
（前年度 260 億 7547 万円）

石部駅周辺整備事業をはじめ、橋梁修繕事業、認定こども園等の改築補助、障がい福祉事業など安心安全を支える大型事業に取り組んだが、主要財政指数は改善されている。
今後も高齢化の進行や、新型コロナウイルス対策に伴う歳出の増加に伴い、事業の見直し、民間委託、経費削減など行政改革が重要。
市税の収入未済額・・・2 億 802 万円
（前年度より 3936 万円減少）
更なる徴収態勢の強化を望む。

令和４年度一般会計補正予算（第５号） 可決

小規模多機能自治の行政事務量調査委託経費
330 万円

行政が担わなければならないサービスなのか。地域が担った方が効果の高いサービスなのかを調査する費用（約 4000 事業対象）

企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託
37 万 5000 円

寄付額の 15％を委託料として、成功報酬型で支払う予算で、ポータルサイトと連携して湖南市と企業を繋いでいく。事業規模 250 万円を予定。

農業燃油等高騰対策支援事業費補助金
387 万 3000 円

対象は、農業経営改善計画が認定された大規模農業者 28 件であり、今後は担い手不足である小規模農家も支える制度設計が必要。

医療機関等支援事業
387 万 3000 円

地方創生臨時交付金の残を見込み、価格転嫁できない医療分野の原油価格高騰の影響分を支援する。

8 億 6952 万 1000 円強の繰越金が生じているが、サマーレビューからも今後は、公共施設の長寿命化、老朽化対策のために「特目基金」の創設を考えている。

施設使用料値上げの議案に対し反対をいたしました。

コロナ禍で人と人が分断されました。公共施設でのこれからの活動、行政が提供する居場所づくりは今後大変重要なサービスの一つと捉えます。施設使用料適正化指針に則って改定をされましたが、その中でも、「利用実態等を勘案し」とあります。現在文化ホールについては、大変利用が少ない状況であるにもかかわらず、土日・休日全日の利用が、石部文化ホールで 29000 円、甲西文化ホールで 30450 円の値上げとなっています。他市のホール使用料からしても高額となっています。これではますます利用者は少なくなり、受益者の負担部分は減ってしまいます。文化事業が軌道に乗ってからでも良かったのではないかと思います。コロナ禍での文化活動は心の癒やしや勇気の源となり、大変重要だと思います。文化活動をされている方々が、利用出来なくなるのではと危惧します。

また、まちづくりセンターの大ホールも 1 時間 450 円の値上げです。市民がコミュニティを構築する居場所の大きな値上げは、市民と共に参画するまちづくりに逆行しているのではないかと思い私は反対をしました。

旧統一教会と政治家との癒着・政治の歪みを質するため徹底追求することを求める意見書に賛成！

たくさんの政治家が旧統一教会と何らかの関係があると報道され、そのご家族の厳しい現状も明るみになってきました。選挙運動にも何らかの関わりも解ってきており、断じて許してはならないと思います。多くの被害者の救済のためにも、これを機会に徹底追求されることが重要と思いました。

福祉教育常任委員会　全議案可決

議案第 44・45 号福祉医療助成条例の一部改正は、高齢者の医療の確保に関する法律の改正により、2 割負担の定めが追加されることに伴い所要の改正を行なうものでした。

閉会中の調査

市民と議会の懇談会　7 月 14 日

場所：社会福祉センター2 階
対象：子育て支援に活動いただいている団体

参加団体

社協ヘルプサービス、主任児童委員北・南地域子育て支援すずめ、すくすく食堂、すくすくカフェ、ほっこりや

所見

コロナ禍で家庭環境も厳しくなっている昨今、市民が子ども達を支える仕組みは、これから益々重要となってきます。中高生の居場所づくりや「お金と場所の支援を」といった声をお聞きしました。引き続き委員会の閉会中の調査の中で、「何が出来るのか」議論してまいります。いつもありがとうございます。

湖南市の文化振興について

問　令和４年４月から、文化芸術振興は首長部局に移管しました。湖南市の文化振興をどのように進めていくのか。

答　令和２年４月に策定した「第２期湖南市教育振興プラン」に則って、社会教育の取り組みとして、「市民と連携しながら美術展やコンサートの開催など、市民との協働による文化芸術の振興を図り、その活動を支援」していきます。びわ湖ホール、守山ホールとも広域に連携しながら、世界に通用する新たな文化芸術の振興を表現していきたい。

問　国の方へ職員が出向していますが、国の情報、補助金を活用する考えは。

答　文化庁のさまざまなセクションとも連携を得られることで、関連する補助金も積極的に活用していきたい。

問　８月の指定管理の公募施設に文化ホールがありませんでしたが、どうなっていくのか。湖南市文化体育振興事業団の今後のあり方について。

答　文化の拠点となります石部および甲西文化ホールの運営については、令和５年度から直営による管理運営とさせていただく計画です。事業団については、今後話し合いを進めていきます。

問　湖南市教育委員会共催のもと開催されてきた早春コンサートや市民協働で担ってきた文化祭など、市民が築き上げてきたコンサートや文化の支援について

答　今日まで進めてきた生涯学習への取り組みの成果でもあり、各種文化団体の皆様と今後も連携して進めていきます。

問　本物の芸術に触れる教育は、その子どもの人生を豊かにしてくれます。陶芸の森「つちっこプログラム」を取り入れる考えについて。

答　体験活動は自尊感情を高める意味で、非常に重要と考えます。「ほんまもん」との出合いを大切にしている湖南市教育と一致しています。すでに学習に取り入れている学校もあります。第２期滋賀県教育振興基本計画においても位置づけられていることから、出前授業もなど各学校の子どもの実態や学習に応じて、プログラムを選択肢の一つとして紹介していきます。

大雨による浸水被害対策について

問　７月 19 日の大雨の際、石部地先で広域にわたり浸水被害がでました。その検証と今後の対策について。

答　特に石部地先では 11 時過ぎから雨が強くなり、時間雨量が約 60 ㎜を記録しました。かつてないほどの水位上昇が見られ、ほとんどの水路や用水路が排水不良に陥りました。ほぼすべての流末は、県が管理する一級河川の「宮川」と「落合川」に流入する状況で、「宮川」については、JR 草津線のアンダー部の断面が狭く、流下能力が極めて低い状況で、甲賀土木事務所長に対し優先順位の見直し、早期改修を強く要望します。「落合川」については、今年 12 月に河川整備計画の変更素案に係る地元説明会が開催され、河川の平地化に向けて工事が始まります。浸水被害が減るよう、市道側溝の部分改修を順番に行ない、地域の協力をいただきながら、土嚢のストックを準備していきます。

問　同日、立石川でも溢れる恐れがありました。浚渫を含めた今後の治水対策は。

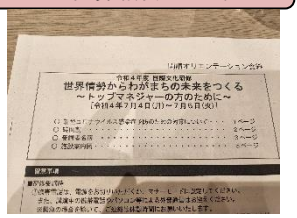
答　普通河川「立石川」の護岸が１カ所崩壊し、復旧時期を取水期が過ぎた 12 月に予定しています。浚渫については、湖南市普通河川維持管理計画において、令和 6 年度に市道丸山線から延長約 1.4 ㎞にわたり実施予定です。

問　その地域の危険リスクを正しく知ることが重要です。地区防災計画の市民周知は。

答　現在 22 区が策定しており、今後も地域のふるさと防災チームなど自主防災組織や防災士連絡会を通じた防災力向上の取り組みをさらに支援していきます。

研修報告と議員活動

JIAM　世界情勢から学ぶ



7月4・5日（月・火）

トップマネジャーセミナー

デジタル先進国

デンマークから学ぶ。

世界幸福度ランキング2位

社会イノベーション・エバンジェリスト：中島健祐氏

・人が集い学習する公園。

・自転車で移動する町。

自然と調和した新しい価値観を学びました。

子どもの未来を考える

7月9日（土）

社会福祉協議会主催

滋賀県教育委員会

ソーシャルワークスーパーアドバイザー　上村文子氏

「自分と未来は変えられる」

子どもは・・

・環境の影響を受けやすい。

自信　やる気　確かな自我を育て、地域と親子の繋がりが斜めの関係。応援となる。

地域婦人会リーダー研修

7月23日（土）

「びわ湖とプラスティックごみ問題を考える」

しがローカルSDGs研究会事務局長　辻博子氏

「マイクロプラスティック・ストーロー」映画を鑑賞した。自主性を持ち行動する子ども達に感動。やはり、教育は重要だと感じた。

今の子ども達の現状

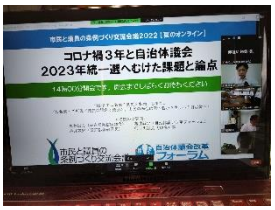
7月18日(水)

湖南市女性の会学習会

湖南市スクールソーシャルワーカー　上原裕介氏

ヤングケアラーの実態はなかなか掴みにくい。潜在的に貧困家庭は存在するが見えにくい。子どもの声が届く体制と中学生以降の切れ目ない仕組み作りが重要。

7月20日LM議員定数研修会



7月31日LMコロナ後の議会

8月3日やまなみ工房学習会

8月21日救急蘇生法講習会

8月27日阿星あかつき保育園

9月23日災ボラ実地訓練

議会報告＆懇談会

令和4年11月12日(土)

石部まちづくりセンター

16：00～17：30

また、ご意見をお聞かせ下さい。ZOOM希望者は

pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eone.ne.jp

までメールをしてください。

返信させていただきます。

ありがとう！旧石部駅

よろしく！新石部駅

令和5年度完成予定

7月

2日　サロンつむぎ　骨粗しょう症学習会

3日　宝来坂区河川愛護＆道路環境清掃活動

9日　国際協会イベント「こなんで発見！こんな国」

11日　福祉教育常任委員会

14日　福祉教育受任委員会

17日　こなんSDGsカレッジ2022

20日　第50回消防救助技術東近畿地区指導界激励会

22日　わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会

23日　愛宕さんの夕べ

29日　湖南市第4分団ポンプ操法激励

31日　原爆展

8月

5日　こなんSDGsカレッジサマーキャンプ

6日　湖南市平和の集い・湖南市夏祭り

7日　赤祖父ゆみ議会報告＆懇談会

18日　全員協議会

20日　石部西区夏祭り

23日　カリスマ添乗員おもてなし研修会

9月

28日　青少年夏休みコンサート

1日～27日　9月定例議会

5日　スクールガード

11日　青少年指導支援の会

24日　ZOOM研修会

29日　人権研修会（部落差別の現在）

30日　JR石部駅新駅舎改札ルート変更